

<施術を受けた方の声>

会社で仕事をしていても、疲れたと感じることが以前より少なくなりました。月にたった一度の施術でも身体の中を全て見透かされているのが不思議で、いつもすごいと感謝しております。
(45歳男性Sさん)

腕の痺れがひどく、整形外科で「頸椎症性脊髄症」の診断を受け手術しました。術後も腕の痺れや首の痛みが残りましたが、施術をしていただき腕の痺れがすっかりなくなりました。上を向くことが辛かった首も、今では綺麗な夜空を見上げられるほどになりました。年齢とともに体のあちこちに不調が出てきますが、その度に身体も心も健康にさせていただき感謝しています。
(60歳女性Yさん)



上／最初は脈診（みやくしん）から。両手首とお腹に触れ、気の流れを読み取っていく 右下／血液の流れや心身の状態まで、さまざまなことを読み取る 左下／同院でのはり灸は、はりが触れているかどうか分からないという



那智が丘店の施術室。アジアンテイストのインテリアがゆったりとした気分させてくれる

3千年の臨床に基づく東洋医学の力で、免疫力を正しく発揮
コロナ禍のストレスによる痛みや体調不良も改善へ

「コロナ禍によるストレス」という話をよく見聞きする昨今、「当院にいらっしゃる新規の来院者にも、コロナ禍疲れやストレスで体調を崩したという方は増えています」と話すのは、「那智が丘こんのはり灸院」の今野毅先生だ。昨年来のリモートによる仕事や授業、連日のコロナ報道などで人々に不安がつのり、気の流れに滞りが生じた為だという。

「気」とは東洋医学で全身をめぐる陰陽の生命エネルギーのこと。気が乱れると、人は本来持っている自然治癒力を正しく発揮できない状態になる。ストレスが重なって体調を崩すことが多いとされるのも、気の滞りを放っておくことで病に至るといふ東洋医学の考え方に即したものだ。今野先生はこの考えをもとに、気の通り道である「経絡」に沿ってはり灸を用いた施術を行う。

「新型コロナウイルスに関するさまざまな情報が出回るなかで、

ワクチンを打つかを悩んでいるうちに体調を悪くされた方も当院にこられます。そういった方も、気を整えることで自然治癒力が正常に働きだし、元気な状態をとり戻していきます」。仙台に単身赴任中の男性も、初めての土地での三密を避ける暮らしで体調をくずし、〇〇〇〇で同院にやってきました。施術を受けて元気をとり戻し、男性のお母さんからもお礼の電話をいただいたそうです。

今野先生は東日本大震災の避難所で鍼灸師としての仕事をスタートさせた。「様々な痛み症状を抱えている人やPTSDの人を含めて、極度のストレス状態にある方々が経絡の施術で改善していく様子を見ました」と今野先生は話す。鍼灸師の国家資格を目指した勉学とともに、東洋医学の熱心な研究会・東明塾でも学んでいたことが力になり、避難所最後の施術日には消灯時間まで施術を求める人が途切れないほどの

惜しまれ方だったという。その年に開院して10年。現在は仙台駅前にも施術室を持ち、両院には施術を求めて県外からも人々が訪れている。

同院での施術は、脈診からはじまる。脈で気の流れを見て心身の状態を知り、その人に必要なツボに、その人に合った鍼を使って施術し、最後に温める灸をする。鍼は髪の毛より細いものから多種類用意されており、施術では刺さずに触れるだけ。触れているのかもわからないほどで、「もう終わっただんですか？」と聞かれることも多いという。1〜2回で本来の体調を取り戻す人もいれば、定期的に通う人もいるそうだ。

「気の流れが整って人本来の自然治癒力を発揮できれば、もしウィルスを取っても、自己免疫力が最大限手を尽くして自分の体を守ってくれます。それが人が持つ正しい生命力です。ワクチン接種後の熱やだるさにも対応します」と今野先生。なんとも心づよい話だ。

東洋医学の考え方は「未病を防ぐ」。不安や不調を感じている人は、今野先生に相談してみてください。



本院
名取市那智が丘4-1-15
☎022-393-4030
受付時間／9:00～20:00
完全予約制 往診も対応
出張施術／10:00～20:00
休診日／日曜
他臨時休業日あり



仙台仮庵店
仙台市青葉区中央3-8-5
328号室
受付時間／9:00～18:00
完全予約制 当日も対応
予約電話番号は本院共通



仙台駅前の仙台朝市ビルの3階に開設した仙台仮庵店がある



「高い免疫力は、ウィルスが変異しても抑え込むことが期待できます」と話す今野先生